

サービス・ニュース Service & News

団体貸出サービスを始めました

千代田図書館や四番町図書館で実施している団体貸出サービスを、当館でも始めました。利用登録をすると、一回30点まで、最大4週間借りることができます。「イベントなどで本と一緒に展示したい」「企業内の資料として一定期間利用したい」など、さまざまなシーンでご活用ください。

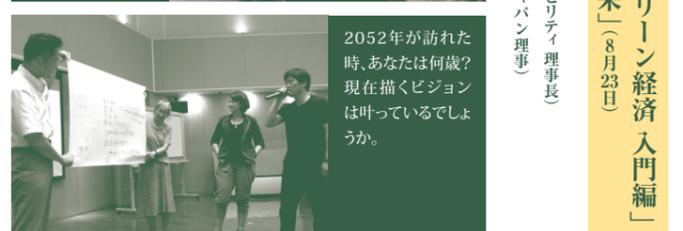
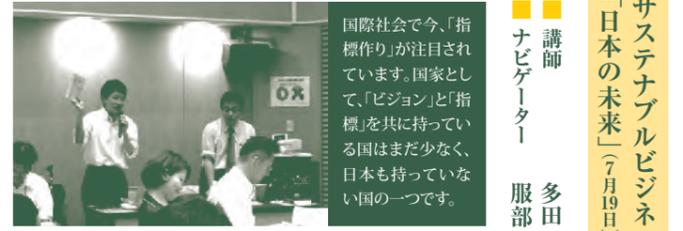
登録条件

- 1 活動拠点が千代田区内にある
- 2 団体の所属人数が2名以上
- 3 代表者が千代田区立図書館の利用登録をしている
- 4 団体の活動目的が申込み時に文書やホームページで確認できる

■お問合せ：電話(03-3502-3343) 団体貸出サービス担当まで

日比谷カレッジ Hibiya College

未来を読み解き、今に活かす!
 講師 ナビゲーター！参加者の全員で考える、新たな経営戦略やイノベーションのための講座がスタートしました。講座のキーワードは「持続可能性」「環境」「生物多様性」。うなぎが絶滅危惧種になるといふ身近なニュースから始まり、「2052年（日経BP社）を読み解きながら、「持続可能な国の形を考えた」ための解説。後半では一つのテーマを決めて、活発なディスカッションが行われました。長期的な視点で物事を捉えていくにはどうすべきか？ 引き続きシリーズとして考えていきます。



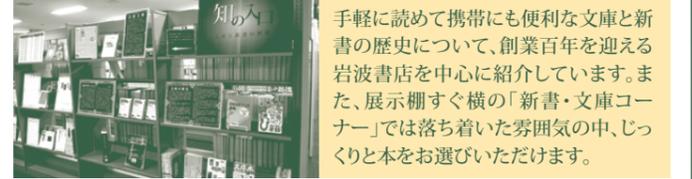
あるべき姿と現実とのギャップを測るもの



ZONE pick up! Green zone

3階グリーンゾーン
 <哲学・歴史・自然科学・技術工学>などの本を集めた図書フロア

<メイン展示>『知の入口-文庫と新書の世界-』



「文庫」と「新書」の始まりをクローズアップ！
 文庫と新書では誕生経緯や目的が異なります。文庫は、古典的名著を安価で提供することを目的に刊行され、今も変わらず手軽に名著に触れられるのが魅力です。一方、書下ろしがメインの新書は、現在では幅広いテーマを扱うようになり、多分野の「今」を知ることができ、まさに知の入口といえます。

文庫の原点はドイツのレクラム文庫
 ドイツのレクラム社が出版した本をガラスケースに展示しています。岩波文庫はこの小さな本の影響を受けて誕生しました。ゲーテ、カント、プラトンなどの名著をご覧ください。当館4階 特別研究室所蔵。

<講座関連展示>『グリーン・イノベーション ~環境と持続可能な社会の実現に向けて~』

9月の展示情報 ※展示内容は変更する場合がございます。

2F パープルゾーン
 <常設展示>『日比谷図書館の歴史』
 100年の歴史を経てきた都立日比谷図書館を引き継ぎ、当館はまもなく2年になります。大震災、戦争を乗り越え、現在に至るまでの営みをパネルにして展示。関連する本や資料を集め、今後も充実させていきます。
 ■テーマ展示 ▶「図書館Walker ニーズから探る、図書館活用法」(～9/15)
 ■常設展示 ▶「太田道灌コーナー」 ■特別展「終わりから始まるものがたり」関連展示 ▶「100年後まで残したい18冊」(三角台)

2F オレンジゾーン
 <ビジネス>「今こそ、統計! ~統計の世界へようこそ~」
 日本の統計、世界の統計、歴史の統計など、さまざまな統計書を紹介。データ化された情報から何を読み解くのか? 注目したい統計の本をご紹介します。

3F ブルーゾーン
 <辞書の展示>「ことば典の世界」
 昨年、三浦しんさんの小説「舟を編む」でも話題になった辞書について、出版社の歴史、特色や魅力を紹介します。

『宗教民俗学』
 当館スタッフの推薦本を紹介します。
 宮家 準著
 おすすめする人 図書フロア 甲斐寛樹

鬼や妖怪をテーマにして読み続けていく過程で見つけた本です。初見の雑感では数学や物理の参考書に近い印象でしたが、宗教民俗学と聞くとオカルト系のイメージがありました。この本は徹底して論理的な分析や解釈がなされています。古来の世界観の解明に曼荼羅の解説図や図形を駆使した視覚的な理解が得られる工夫があり、出典も豊富です。西洋文明が入ってくる前の日本独自の宗教文化について、以前から持っていた漠然とした疑問に答えを与えてくれました。

東京大学出版会 1989年
 宗教儀礼、口承文芸、宗教美術の三つの象徴体系を民族宗教の世界観の中核と捉えてその構造を分析し、昔の人々の宗教的世界観をあらわにする。

千代田区立日比谷図書文化館 広報誌

あなたなら、この問いにどう答えるのか!?

本のない世界が想像できますか?

生きていくあいだに絶対やってみたいことはなんですか?

特別展 終わりから始まるものがたり 25の問いと100冊の本 好評開催中!

特別展をより深く楽しむために作られた小冊子「ものがたりノート」を手に、会場内に設置された様々な問いを巡ります。また、自らのなかにある答えを探さずにはいられないよう、様々な工夫の展示もなされています。

トークイベント 「ひとつの音楽、ひとつの生命 ~音楽のはじまりと終わりをめぐって~」
 ■講師:小沼 純一(音楽・文芸批評家)
 ■日時:9月14日(土)12:00~13:30(11時30分より受付)
 ■場所:4階 スタジオプラス(小ホール) ■参加費:500円(千代田区民無料)
 ■定員:60名 ※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ち下さい。

記念講演 「記憶から記録へ、そしてまた記憶へ ~本の始まりと終わり~」
 ■講師:高宮 利行(中世英文学者・慶應義塾大学名誉教授)、荒俣 宏(博物学者、翻訳家)
 ■日時:9月26日(木)19:00~20:30(18時30分より受付)
 ■場所:4階スタジオプラス(小ホール)
 ■参加費:1500円 ■定員:60名

「本」に関する問いかけ特設サイトの開設
 【http://hibiyal.jp/hibiya/exhibition2013】
 展示会場と連携しながら、本に興味を持つ幅広い層の考えにふれ、交流することができる参加型の特設サイトです。
 サイトで楽しめる6つの質問
 ■100年後に図書館は存在するでしょうか? ■「生きている」ってなんだろう? ほか

calendar 開館時間:平日10時~22時、土曜10時~19時、日祝10時~17時、休館日

2013年 9月							2013年 10月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	6	7	8	9	10	11	12
8	9	10	11	12	13	14	13	14	15	16	17	18	19
15	16	17	18	19	20	21	20	21	22	23	24	25	26
22	23	24	25	26	27	28	27	28	29	30	31		
29	30												

■お問合せ先:千代田区立日比谷図書文化館
 〒100-0012 千代田区日比谷公園1-4 TEL:施設代表 03-3502-3340
 図書総合カウンター03-3502-3343 URL:http://hibiyal.jp

9・10月の講座

▶「日比谷カレッジ」とは、日比谷図書館が主催・共催で行うセミナーやイベントです。「江戸・東京」「本」「スキルアップ」「芸術」「センスアップ」の5つのカテゴリに基づき、さまざまな「学び」と「交流」の場を提供します。

9/4 (水) HIBIYAイノベーション・キャンパス 【【初級・体験版】イノベティブ・デザイン思考－目的の見える化からアイデアを創造する】

講師：石橋 金徳（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科特設助教授）
富田 欣和（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科教員）
麻生 陽平（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科教員）

慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科と連携し、ビジネスパーソンを中心に、新たな視点で創造的な答えを導くためのイノベティブ思考を学ぶ『HIBIYAイノベーション・キャンパス』。デザイン思考やシステム思考になじみのない方、むずかしい話が苦手な方にもわかりやすく、気軽にご参加いただける【【初級・体験版】イノベティブ・デザイン思考】を実施します。慶應義塾大学大学院にて、イノベティブ思考の講義を担当する講師陣が教えるワークショップ形式の体験版にぜひご参加ください。（主催：イノベティブ・デザインLLC）

- 日時：9月4日（水）19:00～21:00（18:30より受付）
- 会場：4階スタジオプラス（小ホール） ■ 定員：48名 ■ 参加費：3000円

9/6 (金) 日比谷コトづくり塾〈第3回〉 「スポーツで地域を元気にする」 ～公共政策としてのスポーツ施設の活用と民間の連携～

講師：南 学（神奈川大学特任教授・日比谷コトづくり塾塾長）他

全国各地でスポーツ施設の誘致、民間の活用によるスポーツ施設の活性化など、スポーツをキーワードにしたまちづくりが多く行われています。日比谷コトづくり塾〈第3回〉では、「スポーツで地域を元気にする」～公共政策としてのスポーツ施設の活用と民間の連携～をテーマとして開催いたします。（主催：一般社団法人日本経営協会）

- 日時：9月6日（金）13:30～16:30（13:00より受付）
- 会場：4階 スタジオプラス（小ホール）
- 定員：60名 ■ 参加費：5250円



9/6 (金) 千代田区民講座 江戸の老舗どぜう料理店主が語る ～隅田川の流れとともに～

講師：渡辺 孝之（駒形どぜう六代目当主）

どじょう料理は、頭から丸ごと食べる「一物全体食」で、からだに良い貴重なタンパク源として人々に愛され、日本の伝統食として親しまれています。近年では品薄のうなぎに替わる食材としても注目されています。1801年、11代将軍徳川家斉の時代に創業した、老舗のどじょう料理店主が、200余年という長い歴史を支えた家訓、守り抜かれた味とおもてなしの心、時代とともに変わる商いのありかたなどについてお話します。（主催：神田維学大学）

- 日時：9月6日（金）19:00～20:30（18:30より受付）
- 会場：4階 スタジオプラス（小ホール） ■ 定員：60名 ■ 参加費：無料

9/7 (土) ピースビレッジ第17回 『世界のエリートが学んできた「自分で考える力」の授業』から学ぶ ～本当の自信を身につけるための、自分で考える力～

講師：狩野 みき（慶應義塾大学講師）

自分で考える力はなぜ必要なのでしょう。究極的には、自分に本当の意味での自信を持たせてくれるからだと考えています。『世界のエリートが学んできた「自分で考える力」の授業』出版記念講演として、「考える人」になるための効果的なエクササイズ、考えることがなぜ自信につながるのか、についてお話しいたします。（主催：NPO法人 世界連邦21世紀フォーラム）

- 日時：9月7日（土）14:00～16:30（13:30より受付）
- 会場：4階 スタジオプラス（小ホール）
- 定員：60名 ■ 参加費：3000円

教えて！図書館用語【装備（そうび）】本や雑誌に分類を表すラベルやバーコードを貼ったり、日付印を押したりして、利用可能な状態に準備する作業のこと。本にフィルムがかかっているのも、長く使っていただけるよう“装備”しているからなのです。

▶参加申込：電話（03-3502-3340）またはEメール（college@hibiyal.jp）にて、講座名、お名前（よみがな）、お電話番号をご連絡ください。当館1階の受付でもご予約を承ります。各講座ともに定員になり次第、締め切らせて頂きます。キャンセルの場合はご連絡ください。参加費は当日支払いです。千代田区民割引のある講座は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ちください。

9/13 (金) データベース講座：eolで企業分析と 有価証券報告書の読み方を学ぶ

講師：大口 健一（株式会社プロネクサス データベース事業部）

eolは、金融機関や企業、大学、研究機関などで利用されている総合企業情報データベースです。当館でも使えるこのeolを使った企業分析や有価証券報告書の読み方について解説します。実際にeolを操作していただく時間もあり、操作方法も同時に学ぶことができる体験型の講座です。

- 日時：9月13日（金）19:00～20:00（18:30より受付）
- 会場：3階 ライブラリープラス ■ 定員：10名 ■ 参加費：無料

9/14 (土)ほか 経済史100年×ポピュラー音楽史100年 －文化は経済の鏡である。－

講師：坪井 賢一（ダイヤモンド社 取締役）

日本経済の100年（1913～2013）の歴史を回顧しながら、ポピュラー音楽の変遷を考察する全2回。経済、産業、テクノロジーの発展は音楽産業を変え、アーティストの音楽づくりも変えていきました。100年間の経済史と音楽史とを、本田美奈子さんの歌手人生を軸に歴史的な音源を紹介しながらお話しします。

- 日時：9月14日（土）前編「大衆文化開幕の時代」
9月21日（土）後編「デジタル時代の音楽と経済」
いずれも15:00～17:00（14:30より受付）
- 会場：4階 スタジオプラス（小ホール）
- 定員：各回60名 ■ 参加費：2回分2000円（千代田区民1000円）
※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ち下さい。

9/20 (金)ほか 統計調べ方講座（全3回）

身の回りにあるデータ化された情報から何を読み解くのか？統計の調べ方を学び、今話題の統計を身近に感じていただくための講座です。第1回は、国としての統計をまとめる専門家の方と大学院などで統計学を教えている研究者による対談形式の講座。統計の見方、調べ方についてお話しします。第2回は、ニュースなどで紹介されることの多いOECD（経済開発協力機構）統計の調べ方について学びます。OECDLibraryやバリ本部のウェブサイトなどもご案内します。（第3回は11月予定。）

- 第1回 9月20日（金）
「誰かに話したくなる統計の見方、調べ方」～なるほど統計学園@日比谷カレッジ～
■ 講師：渡辺 美智子（慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科教授）、
佐藤 朋彦（総務省統計局統計調査部消費統計課企画官）
- 第2回 10月4日（金）
「OECD統計の調べ方～経済統計から幸福度指標まで～」
■ 講師：高橋 しのぶ（OECD東京センター）
※第2回では、パソコンやiPadを使ってOECD統計を実際に調べてみる時間もあります。（ノートパソコンやiPad等持参可）
- 時間：いずれも19:00～20:30（18:30より受付）
- 会場：4階 セミナールームA（会議室） ■ 定員：各回24名 ■ 参加費：無料

9/25 (水) 千代田区民講座 音のサロン 「90年代邦楽ロック特集 ～もう一度、音楽リスナーをはじめよう～」

プレゼンター：中村 貴子（ラジオパーソナリティー）

90年代に活躍した様々な日本のロックバンドは、現在の音楽シーンにも大きな影響を与えており、今でも色褪せない魅力を持ち続けています。今回は人気のラジオパーソナリティー中村貴子氏を迎え、90年代の日本のロックを中心に、ハイエンド（高級）オーディオによる音響をお楽しみいただきます。（共催：日本オーディオ協会、日本レコード協会）

- 日時：9月25日（水）19:00～20:30（18時30分より受付）
- 会場：4階スタジオプラス（小ホール）
- 定員：60名 ■ 参加費：無料



9/25 (水)ほか HIBIYAイノベーション・キャンパス 【【実践シリーズ】イノベティブ・デザイン思考－「体験」をデザインする】

講師：石橋 金徳（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科特設助教授）
富田 欣和（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科教員）
麻生 陽平（慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科教員）

ビジネスパーソンを対象に、新たな視点で創造的な答えを導くイノベティブ思考を学ぶ実践シリーズでは、3回のワークショップを通してチームを形成し、テーマの設定、課題の抽出と可視化、アイデアの創出、コンセプトの創造といったより実践を意識したプロセスと手法を学べます。（主催：イノベティブ・デザインLLC）

- 日時：第1回 9月25日（水）19:00～21:00（18:30より受付）
第2回 10月9日（水）、第3回 10月23日（水） いずれも19:00～21:00
- 会場：4階 セミナールームA（会議室）
- 定員：24名 ■ 参加費：10,000円（全3回分）

9/27 (金) 出版社を知るシリーズ第2回 創業100周年「岩波書店」という多面体 －その核心にあるもの－

講師：小島 潔（岩波書店取締役、編集局長）

岩波書店といえば岩波文庫や新書、『広辞苑』。あるいは『星の王子さま』『モモ』などの児童書を思い浮かべる人などさまざまだと思います。今年で創業百年を迎える岩波書店の歴史を追いながら、その多面体としての出版社の本質を、創業者・岩波茂雄の経営哲学、岩波文庫と教養、戦争と平和と岩波書店、といった角度から主題に迫ります。

- 日時：9月27日（金）19:00～21:00（18:30より受付）
- 会場：4階 スタジオプラス（小ホール）
- 定員：60名 ■ 参加費：1000円（千代田区民500円）
※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ち下さい。

10/2 (水) 〈EDO ART EXPO 連携企画〉 第18回 江戸歴史講座「江戸の美－琳派の系譜－」

講師：内藤 正人（慶應義塾大学文学部教授・慶應義塾大学アートセンター所長）

「江戸の美意識」をテーマとするEDO ART EXPOと連携した第一弾の講座。「琳派」は、江戸初期の俵屋宗達たち、江戸中期の尾形光琳たち、そして江戸後期の酒井抱一たちの系譜を総称する言葉です。彼らには師承関係はなく、時代も活動場所も異なりますが、それぞれが先人の業績を慕い、その遺作から多くを学びながらも新たな創造を繰り返すという、興味深い軌跡を残しています。琳派の系譜について、江戸美術の研究者が支持するオーソドックスな説を前提にお話しします。

- 日時：10月2日（水）19:00～20:30（18:30より受付）
- 会場：4階 スタジオプラス
- 定員：60名 ■ 参加料：1000円（千代田区民500円）
※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ち下さい。

10/7 (月) 第19回 江戸歴史講座 「江戸の美－北斎・広重とめぐる江戸名所－」

講師：藤澤 紫（國學院大学客員教授・国際浮世絵学会常任理事）

江戸庶民に愛され、育まれた浮世絵の豊かな世界は、海外でも高い人気を誇っています。北斎や広重らの人気絵師が手懸けた名所絵の逸品を、鮮やかなスライドを介して楽しく読み解きます。と一緒に、浮世絵ワールドを楽しみましょう。

- 日時：10月7日（月）19:30～21:00（19:00より受付）
- 会場：4階 スタジオプラス
- 定員：60名 ■ 参加料：1000円（千代田区民500円）
※千代田区民の方は、当日、図書貸出券や健康保険証など住所が確認できるものをお持ち下さい。

10/11 (金)ほか 日比谷オペラ塾「作曲家でたどるオペラのあゆみ（前期）」（全6回） 第1回 オペラの誕生 ＜モンテヴェルディ＞

講師：戸口 幸策（成城大学名誉教授）

時代を代表するオペラ作曲家にスポットを当てながら、作品と作曲家について理解を深める、全6回の連続講演会。第1回は本格的オペラの始祖といわれるモンテヴェルディについて、お話いただけます。初心者にも、オペラ愛好家にもご満足いただける内容です。（主催：フェニーチェ劇場友の会）

- 日時：10月11日（金）19:00～20:30（18:30より受付）
- 会場：4階スタジオプラス（小ホール）
- 定員：60名 ■ 参加費：6000円（6回分）、各回1500円
＜第2・3・4・5・6回予告＞
- 11月12日（火） オペラの改革者＜グルック/ハイドン＞
岩下 真好（慶應義塾大学教授）
- 12月13日（金） オペラの天才＜モーツァルト＞
堀内 修（音楽評論家）
- 1月23日（木） オペラの醍醐味＜ロッシーニ＞
水谷 彰良（日本ロッシーニ協会会長・オペラ研究者）
- 2月20日（木） ベルカント・オペラの旗手＜ドニゼッティ＞
吉田 光司（オペラ研究者）
- 3月11日（火） 革命的オペラ作家＜ワーグナー＞
船木 篤也（音楽評論家）

古文書塾“てらこや”体験講座

古文書塾“てらこや”は古文書専門塾として、初心者から経験者まで楽しみながら学習を進めています。10月の開講に合わせ、この度古文書の世界に無理なく入っていける「体験講座」をご用意いたしました。各コース別の体験講座実施日は下記の通りです。まずは体験講座をお試ください。

入門コース 120分	
9/17（火）、9/24（火）10:10～ 9/12（木）、9/26（木）13:30～ 9/19（木）、10/3（木）18:30～	古文書のいろは 筆字のくずし字
9/30（月）18:30～	いろはの次 ー大江戸大変ー

本科コース 120分	
9/17（火）18:30～	古文書に見る江戸のくらし
9/18（水）13:30～	武家文書を読む ー老中にも幕府官僚事情ー
9/20（金）18:30～	江戸のコミック（黄表紙）と滑稽本を読む

特別講座 90分	
9/30（月）15:00～	浮世絵を読む
9/30（月）18:30～	文人画と碑文 ー掛軸を読むー
9/24（火）19:00～	大久保利通の手紙を読む
9/25（水）19:00～	絵画・図像で近世を読む
9/19（木）13:30～	くずし字で読み解く茶の湯の伝書
9/26（木）18:30～	江戸を楽しむ ー暦の語るものー
9/21（土）10:30～	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎（入門編）
9/21（土）14:00～	絵と文字で楽しむ江戸歌舞伎（応用編）

- 参加費：各回1000円 ■ 会場：4階 セミナールーム（会議室）
- 資料請求・体験講座のお問合せ：電話（03-3502-3340）

特別研究室ミニ通信

特別研究室夏休み展示企画

「日本を描いた西洋の古文獻」開催中～9月15日（日）

本展では、4/8～6/23まで開催した「挿絵で楽しむ内田嘉吉文庫」の総集編として、西洋人が描いた日本の地図、風景や人々の姿の挿絵がある資料をセレクト展示しています。尚、期間中アンケート回答者の中から抽選で5名様に、「いせ松」が復刻した、内田嘉吉文庫のドイツ版「日本支那暹羅景観（オイレンブルク遠征図録）」の画像5点のうち1点をプレゼントします。



- 日時：9月4日（水）18:30～20:00 ■ 定員：20名（申込順）
 - 参加料：500円 ■ 会場：4階セミナールームA（会議室）
- ※お問い合わせ等は特別研究室（03-3502-3340/内線429）までお願いいたします。